



事業第二部 TEL 03-3552-5035 FAX 03-3553-6580

ホームページ <http://www.kaijipr.or.jp/> E-mail jigy0-01@kaijipr.or.jp

このFAX短信は、毎月1回、海運、造船、港湾、港運など海事関係団体のイベント情報や、その最近の機関誌など海事関係資料の主な項目を、マスコミ55社と海事関係69団体にご紹介するものです。本紙へ掲載する情報をぜひお寄せ下さい。

海のイベント情報等

・特別展「明治の海外輸出と港」

主催：フェルケール博物館

明治39年(1906)、清水港からお茶を積んだ神奈川丸が初めてシアトルへ向けて出港しました。静岡茶は江戸時代から生産が活発になっていましたが、安政6年(1859)に横浜が開港されると、生糸とならび重要な輸出品となりました。この頃は多くの茶荷物を生産地から清水港まで陸路で運び、船で横浜港まで回漕していました。そして、明治10年(1877)には清水の商人たちは横浜に茶売込店を出店し、静岡茶の輸出にあたっていました。しかし、明治22年(1889)の東海道線の開通とともに物資の輸送は陸路中心に移っていきました。そこで、清水の有志達による清水港の開港場指定の請願が明治24年に始まり、明治32年には外国貿易ができる開港場に指定されました。明治39年(1906)、念願の清水港のお茶直輸出が始まりました。この後は、静岡の茶町や鷹匠町に茶葉の再製所や外国人商館が建ち並び、ここから清水港を結ぶ静岡鉄道 静岡—清水線が敷設されました。そして明治42年には日本茶の輸出高が横浜港を凌駕し、茶輸出港としての位置を確立していきました。今回の展示では、お茶の海外輸出に使われた茶箱のレッテル(蘭字)とともに、明治初年に海外輸出に尽力した澤野家の資料、静岡鉄道の静岡—清水線が敷設された当初に使われていたレールなどにより、お茶の輸出の状況を紹介します。また、同時期の生糸のレッテルや開港後の華やかな横浜港の様子も紹介していきます。

【日時】平成25年2月26日(火)～平成25年4月7日(日)

午前9時30分～午後4時30分 休館日：毎週月曜日

【場所】清水港湾博物館(愛称：フェルケール博物館)

【入館料】大人400円・中高生300円・小学生200円・団体割引(20名以上20%引)(土曜日と「こどもの日」・「海の日」は小・中学生 無料)

【後援】静岡県教育委員会／静岡市教育委員会／朝日新聞静岡総局／NHK静岡放送局／毎日新聞静岡支局／読売新聞静岡支局／産経新聞社静岡支局／静岡新聞社・静岡放送局／中日新聞東海本社

【協賛】鈴与グループ

【問い合わせ先】静岡市清水区港町2-8-11 フェルケール博物館 Tel 054-352-8060

<http://www.suzuyo.co.jp/suzuyo/verkehr/index.html>

機関誌など海事資料

<p>「うみ」No. 50 岩手タウンミーティング</p> <p>海事振興連盟 03-3265-1926</p>	<p>「CDIT」Vol. 39 〈特集〉海洋再生可能エネルギーの実用化に向けて</p> <p>沿岸技術研究センター 03-3234-5861</p>
<p>「港湾」2月号 〈特集〉港湾運営会社一民の視点による港湾運営</p> <p>日本港湾協会 03-5549-9575</p>	<p>「J-SAILING」No. 99 J S A F海の絵画コンテスト2012</p> <p>日本セリング連盟広報委員会 03-3481-2357</p>
<p>「BAN MATE」No.36 マリーナを訪ねて</p> <p>日本海洋びや安全・振興協会 045-212-9284</p>	<p>「共有船」No.484 「平成25年度 国交省海事局関係予算の概要」</p> <p>船舶整備共有船主協会 078-362-6982</p>
<p>「KAIUN」3月号 “円安”為替レートをどう見る？ その見通しと対策</p> <p>日本海運集会所 03-5802-8365</p>	<p>「YUSEN」3月号 CSR—社会と会社の未来のために</p> <p>日本郵船 03-3284-5189</p>
<p>「LA MER」 定価700円（税込） ・ご購入申込は、全国有名書店 又は弊協会まで。 ・定期購読も承ります。</p> <p>日本海事広報協会 03-3552-5033</p>	<p>「海上の友」 ・1日、11日、21日発行 ・購読料 年間10,323円 1ヶ月860円（税・送料込）</p> <p>日本海事広報協会 03-3552-5034</p>

<p>日本海事広報協会の 隔月刊誌「LA MER」 3/4月号の主な記事</p> <p>◆〈特集〉 船旅によう！ テーマⅠ日本の客船2013年のクルーズ・スケジュール 「ぱしふいっくびいなす」「飛鳥Ⅱ」「にっぽん丸」 テーマⅡ貨物船と港の働きが見られる遊覧船 横浜港「マリーナルージュ」 千葉港「あるめりあ」 神戸港「ファンタジー」「ロイヤルリセス」 東京港「安宅丸」</p>	<p>見学や視察に活躍する港の所有船 テーマⅢ東北へエールの船旅 震災乗り越え奮闘する小名浜港の「ふえにつくす」 名古屋～仙台「いしかり」乗船記 テーマⅣ船旅通による懐かし&おすすめの船旅 マゼラン艦隊追っかけ航海記 竹原～波方航路と小倉～松山航路 ほか</p> <p>◆連載 ・名船発掘・日本「志ろがね丸」 山田 廸生 ・名船発掘・外国「クリップスホルム」 西村慶明 ・海の産業遺産めぐりⅡ 中川 洋 ほか</p>
--	--